

News Release

【報道関係各位】

2010年9月2日

セント・ジュード・メディカル株式会社

セント・ジュード・メディカル、ペースメーカーリードオプティセンスOptimを発売

～センシング能力を向上させ、心内電位信号の誤感知を低減～

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス、以下、同社)は、オプティセンスOptim、心内膜植込み型ペースメーカーリードの発売を発表しました。本品は、ペースメーカーの植込み手技の一環として静脈を通じて留置される絶縁された導線で、ペースメーカー等の植込み型のデバイスから発せられた電氣的刺激を心臓に送り、心臓からの情報を送り返すものです。

オプティセンスOptimは、右心房におけるセンシングをより正確に行うことができるように設計された優れたペーシングリードです。本品は右心房に留置して使用する際に心室からの心内電位信号の誤感知(ファーフールドセンシング)を低減させる目的を持って設計されています。このような誤った心内電位信号の感知は、ペースメーカーのタイミングサイクルをずらすことになり、持続すると適切な治療に影響を与える可能性があります。

医師はファーフールドセンシングを避けるためペースメーカー等の感度を鈍くするようプログラムしなければならなかったことがありました。それにより、心房性不整脈が発生させる微弱ではあるものの、重要な電位変化を感知する能力も低下させ、そのような設定はペースメーカーの正確な作動や診断に影響を与えます。従って、心房細動等の心房性頻拍(異常に速い心拍)を持つ患者様にとって心房におけるセンシング精度の向上は、特に重要なことです。

不要な電位信号の感知を低減させることにより、ペーシングリードの留置にも選択肢が広がり、リード留置部位として理想的と考えられている下部心房に留置できるようになりました。以前は心室からの電位信号を誤感知する可能性のため、当該部位は選択肢から除外されることがありました。

しかし、オプティセンスOptimを使用することで、心室からの電位信号感知を避けながら、心房内の重要な微弱電位信号に対するセンシング精度を向上させることができ、医師はペースメーカー等の心房感度の設定を柔軟に調整することができます。これにより、患者様の心房の拍動をより正確に感知することができます。

また、本品には、ペースメーカーリード用に開発されたセント・ジュード・メディカル独自のシリコン・ポリウレタン共重合体素材であるオプティム絶縁体が採用されています。オプティム絶縁体は、シリコンラバーの生体安定性および柔軟性と、ポリウレタンの引張りや磨耗に対する強度を合わせ持ち、耐久性および柔軟性を高め、取扱いやすさを向上させました。

「オプティセンスOptimは、操作性が良好なだけでなく、従来にない発想でペースメーカー機能を高めることができる優れたリードです。このリードは、心房電位の検出を損なわないで心室干渉電位のみを低減させられる特殊な機構を有しており、心房感度を鋭く調整できます。これによって、正確なペースメーカー作動が保証され心房性不整脈診断の信頼性が増します。」と板橋中央総合病院、不整脈・心不全科、中島 博 医師は語ります。

本品は上述の通り不要な電位信号の感知を低減することができることから、誤感知防止型として、新しい特定保険医療材料にカテゴライズされており、保険償還価格は162,000円です。(標準型は155,000円)

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカルは世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、「カーディアック・リズム・マネジメント」、「心房細動」、「心臓血管」、および「ニューロ・モジュレーション(神経系)」の4つの分野に注力しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com>をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995年私的証券訴訟改革法の意味する、リスクや不確実性等の将来に関する記述が含まれる場合があります。このような将来の見通しに関する記述には、潜在的な臨床的成功、見込まれる当局の承認や将来の製品発売、予測される収入、利益、収益、市場シェア等、同社の期待、計画および見通しが含まれます。同社による記述は、経営陣の最新の予測に基づいたものであり、実際の結果が将来に関する記述に記載された内容とは大きく異なるような特定のリスクや不確実性に影響されることがあります。これらのリスクや不確実性には、同社の支配の及ばない市場の状況やその他の要因のほか、2010年4月3日に終了した第1四半期に関する同社の10-Q四半期報告書の「リスク要因および注意書き」の項に記載されたもの等、SECへの同社の報告書に記載されたリスク要因やその他の注意書きが含まれます。同社は、これらの記述を更新する意図はなく、またいかなる状況においてもそのような更新を特定の者に対して提供する義務を負うものではありません。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社

セールス・マーケティング統括室

PR マネージャー

山田 秀之

TEL 03-6255-5707 FAX 03-6255-5701